

『キモチ、あつまるプロジェクト 2025』
～学生が原子力災害被災地域の復興支援を考えるスタディツアー～
8月27日（水）～8月29日（金）で開催

独立行政法人都市再生機構（以下「UR都市機構」）は、全国の学生が福島県浜通りの原子力災害被災地域を訪れ、復興に携わる方々等と出会い、復興について学ぶ、学生向けのスタディツアー『キモチ、あつまるプロジェクト 2025』（以下「本ツアー」）を8月27日（水）から8月29日（金）までの2泊3日で実施します（行程は別添1参照）。

本ツアーでは事前に参加者を募集し、参加人数15名の定員に対して全国から100名を超える応募がありました。

参加学生は、2泊3日で福島県大熊町、双葉町、浪江町を訪問し、東日本大震災の伝承施設やUR都市機構がまちづくりを支援している地区を訪れるほか、これらの地域で復興やまちづくりに携わる方々との交流・意見交換等を行います。

本ツアーは今回で3回目の開催となりますが、今年度は新たな取り組みとして、参加学生が本ツアーで体験し、学んだこと等をまとめた『るるぶ特別編集』を発行します。学生自身がワークショップを通じて『るるぶ特別編集』の制作に参加し、地域の魅力や復興まちづくりの様子を、学生自身の感性と表現で発信します。（詳細は別添2参照）

UR都市機構は、原子力災害被災地域において復興拠点整備等のハード整備だけではなく、交流人口・関係人口の創出・拡大や中心部の賑わい・交流づくりに向けて、地域プレイヤーの発掘・連携、関係者を巻き込みながらの実証活動などのソフト支援にも取り組んでいます。本ツアーは、その一環として行うもので、これからの未来を歩む世代が被災地域のことを知り、復興に関心を持ち、行動してもらうきっかけづくりとなることを目指します。

ワークショップ等の学生の活発な議論の様子と、原子力災害被災地域の今をぜひご取材いただけますと幸いです。

スタディツアー概要

○日程：2025年8月27日（水）～8月29日（金）（2泊3日）

○参加人数：15名（現在は募集終了）

○参加者属性：

(1)居住地：関東8名、近畿4名、北陸1名、中部1名、九州1名

(2)年齢層：19歳～24歳

○旅行企画・実施：株式会社JTB

○主催 UR都市機構

○後援 復興庁、大熊町、双葉町、浪江町

（お問い合わせ先）※12/30～1/3及び土日祝日を除く 10：00～16：00

■本ツアーに関するお問合せ先（事務局）

株式会社JTB福島支店 田所（たどころ）・鈴木（すずき）（電話）024-523-3314

UR都市機構 災害対応支援部 企画課 上片平（かみかたひら）（電話）045-650-0380

■報道関係の方からのお問合せ先

UR都市機構 災害対応支援部 企画課 勝谷（かつや）（電話）045-650-0871

広報室 広報課 古櫓山（こひやま） 大久保（おおくぼ）（電話）045-650-0887

<参考> UR都市機構が行う原子力災害被災地域における復興まちづくり支援

●支援3町における主な取り組み

◎ハード整備支援のみならず、地域の賑わい再生や関係人口拡大を図るためのソフト支援を両輪で推進

■大熊町

【ハード整備】

- ・大川原地区（18ha：R2 完了）・下野上地区（43ha）の復興拠点整備
- ・大熊西工業団地（21ha：R6 完了）の産業拠点整備

【ソフト支援】

- ・大野駅西交流エリアにおける地域再生活動支援や賑わい再生に向けた取り組み



大野駅西交流エリア
R7.3グランドオープン

■双葉町

【ハード整備】

- ・双葉駅西側地区（24ha）の復興拠点整備
- ・中野地区（50ha）の産業拠点整備

【ソフト支援】

- ・双葉駅東エリアにおける既存ストック活用による賑わい再生に向けた取り組み



双葉駅東エリア
地域活動拠点FUTAHOME

■浪江町

【ハード整備】

- ・浪江駅周辺地区（12ha）の復興拠点整備
- ・棚塩地区（49ha：R2 完了）・南産業団地（45ha：R4 完了）の産業拠点整備

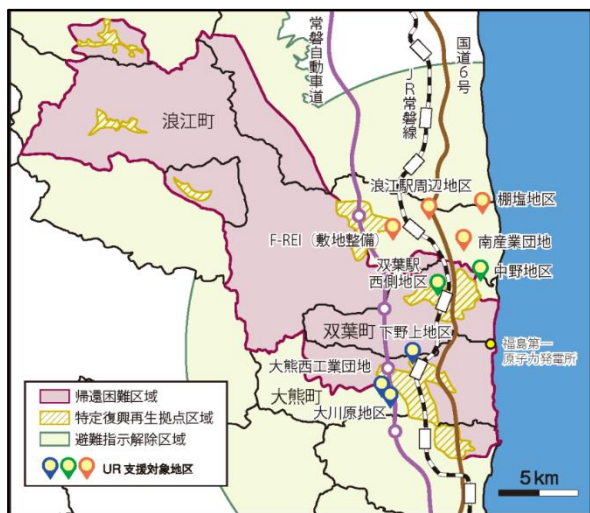
【ソフト支援】

- ・情報発信・交流スペース「なみいえ」の運営や賑わい再生に向けた取り組み



浪江駅前の鳥瞰パース

●復興支援地図



※復興まちづくり支援の具体的内容は、下記 URL を
ご参照ください。

<https://www.ur-net.go.jp/saigai/index.html>



【UR 都市機構】

UR 都市機構の歩みは戦後の住宅不足解消に端を発しています。1955 年から様々なステークホルダーとともに、時代時代の多様性に即し、安全・安心・快適なまちづくり・くらしづくりを通して、「人が輝く“まち”」の実現に貢献してまいりました。そしてこれからも、変化する社会課題に挑戦し続けることで皆さまにお応えし、「人が輝く“まち”」づくりに不可欠な存在でありたいと考えております。これまで培ってきた持続可能なまちづくりのノウハウをいかし、都市再生事業・賃貸住宅事業・災害復興支援・海外展開支援に全力で取り組んでまいります。

<https://www.ur-net.go.jp/>



【行程表】

本行程は現時点の予定となります。今後の検討調整、当日の天候等によって変更となる場合があります。

1日目 8月27日（水）～東日本大震災・原子力災害について学ぶ～

時間	場所	プログラム等
11:15	双葉駅	・ 集合
13:00～	東日本大震災・原子力災害伝承館 (双葉町)	・ 施設見学
14:10～	震災遺構 浪江町立請戸小学校 (浪江町)	・ 施設見学
15:00～ 17:00	中間貯蔵施設 (大熊町・双葉町)	・ 施設見学

2日目 8月28日（木）～復興まちづくりについて学ぶ～

時間	場所	プログラム等
9:10～	いこいの村なみえ (浪江町)	・ 浪江町における復興まちづくり説明
10:20～	浪江駅周辺地区 (浪江町)	・ 復興まちづくり地区見学
12:40～	大川原地区 (大熊町)	・ 大熊町における復興まちづくり説明 ・ 復興まちづくり地区見学
14:00～	下野上地区 (大熊町)	・ 復興まちづくり地区見学 (CREVA おおくま、クマ SUN テラス等)
15:10～	FUN EAT MAKERS in Okuma (大熊町)	・ 野菜工場見学
16:20～	双葉駅西側地区 (双葉町)	・ 復興まちづくり地区見学
17:10～ 19:50	双葉町産業交流センター (双葉町)	・ 双葉町における復興まちづくり説明 ・ ちいさな一歩プロジェクト・「ふたば飲み」※

3日目 8月29日（金）～ワークショップ（るるぶ特別編集制作）～

時間	場所	プログラム等
9:30～	CREVA おおくま (大熊町)	・ ワークショップ
15:30	大野駅	・ 解散

※ちいさな一歩プロジェクト・「ふたば飲み」

ちいさな一歩プロジェクトとは、双葉駅周辺の避難指示解除直後の令和4年9月より、地域プレイヤーの発掘・連携や町の賑わい創出を目的とし、UR都市機構・コトラボ合同会社・ふたばプロジェクトの3者で定期的実施している取組み。既存ストック（空き地や空き施設）を活用したワークショップから始まり、4歩目からは気軽に飲食・交流できる場として「ふたば飲み」を開催しています。今年の夏は、地元イベントと共催し、星空の下で音楽と映画を楽しむ2日間「ふたば星空夜市」を開催します。[別添3](#)参照

「キモチ、あつまるプロジェクト 2025」 るるぶ特別編集の制作について

インターネットや SNS では得られない、現地のリアルな雰囲気を感じることができるのが本ツアーです。そんな貴重な体験をした学生だからこそ伝えられる情報を、第三者に伝えるためのアウトプットとして、「見る」「食べる」「遊ぶ」の『るるぶ』に対し、「知る」「創る」「学ぶ」をテーマにしたオリジナル版『るるぶ』を制作してもらいます。

学生たちは、本ツアー期間中のワークショップに加え、本ツアーを通じて得た多くの情報や体験を整理・選択し、再構成するために、事前・事後にもワークショップを実施しながら制作に取り組めます。

完成した『るるぶ』は、学生自身が本ツアーの体験を広めるために活用するほか、UR 都市機構のウェブサイト等でも公開する予定です。

【学生が制作する「るるぶ特別編集」の概要】

- ・テーマ：大熊町・双葉町・浪江町の魅力を「知る」「創る」「学ぶ」
- ・タイトル：ワークショップを通じて学生が決定
- ・形式：デジタル版
- ・ページ数等：8 ページ・カラー
- ・発行時期：2025 年 12 月（予定）

<2025 年 8 月 5 日にオンラインで開催したワークショップの様子>



ワークショップではるるぶの編集者
から編集のノウハウをレクチャー



熱心にワークショップに参加する
学生たち

ふたば 星空夜市

FUTABA SUMMER NIGHT FESTIVAL

入場
無料

星空の下で音楽と映画を楽しむ、特別な2日間。
夜空に響くライブ演奏と映画上映が、ふたばの夏を彩ります。
両日開催の「ふたば飲み」では、地元グルメやキッチンカーも登場。
ご家族や友人と一緒に、どうぞふたばへお出かけください。

8/28 THU

16:30 ~ 20:30

音楽会 & ふたば飲み

8/29 FRI

16:30 ~ 20:30

屋外映画上映会 & ふたば飲み

みんなでつくるちいさな音楽会

ふたばの おと 声

ちいさな一歩

CHIISANA IPPPO PROJECT

ふたば飲み 🍷



ふたばシネマ

～新たにひらくちいさな灯り～



駅から会場まではシャトルバスが運行

双葉駅方面⇒双葉町産業交流センター（行き）

双葉町産業交流センター⇒双葉駅方面（帰り）

駅西住宅広場発

双葉駅発

産業交流センター発

① 15:40 ④ 17:55 ① 15:45 ④ 18:00
② 16:25 ⑤ 18:35 ② 16:30 ⑤ 18:40
③ 17:05 ⑥ 19:15 ③ 17:10 ⑥ 19:20

① 16:05 ④ 18:20 ⑦ 20:30
② 16:50 ⑤ 19:00
③ 17:40 ⑥ 20:00

※道路状況等により変更が発生する場合があります。ご了承ください

《詳細情報》



会場 双葉町産業交流センター

※東日本大震災・原子力災害伝承館の隣

【主催・共催】

ちいさな一歩プロジェクト事務局（UR 都市機構 / ふたばプロジェクト / コトラボ）・F-BICC イベント実行委員会（ふたばの声）・F-BICC（ふたばシネマ）

【後援】 双葉町

お問い合わせ先：ちいさな一歩プロジェクト：ふたば飲み：090-6501-3749（河田） ふたばの声：070-5074-9804（山根）